環境教育掲示用教材　指導資料

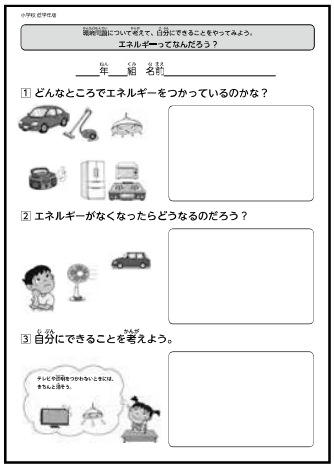
環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与えるとともに、３Ｒをはじめとする地球環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。

本指導資料では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育掲示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について考えて、自分にできることをやってみよう。

エネルギーってなんだろう？



環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることについて理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

暮らしを支えるエネルギーの大切さについて理解するとともに、エネルギーを大切にするために、自分にできる取組を考え、実践する。

活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①、②を見て、身の回りで使われているエネルギーについて話し合う。 エネルギーを大せつにするために、自分にできることを考えよう。	◇身の回りのいろいろなところでエネルギーが使われていることに気付かせる。	◆掲示用教材①、② ワークシート1
○掲示用教材③④を基に、エネルギーがなくなると、私たちの暮らしにどう影響するか、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。	◇イラストを基に、エネルギーがなくなったときの生活への影響について気付かせるとともに、エネルギーを大切にする暮らし方について考えさせる。	◆掲示用教材③、④ ワークシート2
○掲示用教材⑤を参考に、自然の力を利用してつくるエネルギーがあることを伝える。	◇イラストを参考に、太陽の光や風の力を利用して、電気をつくることができることを伝える。	◆掲示用教材⑤
○掲示用教材⑥を参考に、エネルギーを大切にするために、自分にできることについて考える。	◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。	◆掲示用教材⑥ ◆ワークシート3
○気付いたことや感想を発表する。	◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活の必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	

東京都教育委員会